

スプリング・イースター・コンサートVol.8

4/8(日)15:00～ ピアノ演奏: 藤丸 麗さん

入場無料

毎年春にめぐってくるイースター。イエス・キリストが墓から復活されたことを喜び祝うこの時、ピアノの音色を通して神様の恵みを知ってください。



1997年、相愛大学音楽学部ピアノ科首席卒業。東京読売新人演奏会、関西新人演奏会出演。2000年、ポーランド・ワルシャワ・シヨパンアカデミー研究科最優秀卒業。在学中より国内外でコンサート活動、オーケストラとの競演、国際コンクール優勝、入賞、多数。ポーランド・ブシェシル・アルトゥール・マラフスキー音楽院の教諭を務める。

はっぴいイースター in 宝塚 入場無料

4/14(土)14:00～ 講師: 野田 詠氏さん

イースターの前後に、様々な人をお呼びして、お話を聞いたり音楽を楽しんだりしています。今年は、暴走族から牧師になるという、ユニークな経歴をもつ野田さんからその働きと想いを聞きます。



十代の一時期を少年院で過ごし、聖書と三浦綾子の小説『塩狩峠』を読み、在院中にクリスチャンとなる。出院後、洗礼を受け、生駒聖書学院にて学ぶ。卒業後、東大阪市にて、アドラムキリスト教会を開設。現在、NPO法人理事長、少年院の教誨師、教会の牧師として、特に青少年の自立更生や児童福祉の分野で社会課題の解決に取り組む。活動の様子はNHK等のドキュメンタリーに取り上げられる。著書に『私を代わりに刑務所に入れてください』(いのちのことば社刊)がある。明石市更生支援・再犯防止等に関する条例検討会・委員。

『私を代わりに刑務所に入れてください』(いのちのことば社刊)がある。明石市更生支援・再犯防止等に関する条例検討会・委員。

【著書紹介】

「私を代わりに刑務所に入れてください」
～非行少年から更生支援者へ～

ドラッグに溺れ、ナイフを頼りに暴れ回った
武闘派暴走族のリーダーが少年院で見いだした確かな光り

当日、会場でお求めいただけます!



イースター礼拝

4/1(日)10:30～

復活のイエス・キリストを賛美し礼拝します。

どなたでもお越しください。聖歌隊賛美があります。



イースターの意味を知っていますか?

イースター・・・、お店でもテレビでもテーマパークでも、今やいたるところで目にし耳にするようになりました。12月はクリスマス、1月はお正月、2月はバレンタイン、3月はイースターという具合に・・・。でも、イースターって一体何なのでしょう? 年中行事の一つ? イベントの一つ? もしかしたら、あなたはどこかでイースターの解説を読まれたことがあるかもしれません。大抵このように書かれているはずで、「イースターは復活祭のこと。キリストが復活したことを記念して、キリスト教では大切に祝われています。云々」と。この解説は決して間違っていない。でも、なぜキリストは復活したのでしょうか? そして、なぜそれが大切に祝われているのでしょうか? あなたはイースターの本当の意味を知っていますか?

イエス・キリストは十字架にかかって死なれ、死を打ち破って復活されました。それは私たちが罪の縄目と死の絶望から解き放ち、私たちに魂の救いと永遠の命を与えるためだったのです。キリストが復活されたことによって、死はもはや終わりではなく、新たな命に続く通過点となったのです。私たちはこのキリストの十字架と復活を信じることで、罪の解決と永遠の命をいただくことができるのです。聖書にこのように書かれています。

「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。」

「今やキリストは、眠った者の初穂として死者の中からよみがえられました。」

イースターは、いわば私たちのための救いが成し遂げられた記念日、私たちに希望が与えられた記念日なのです。このことを感謝し、イースターは祝われ続けているのです。あなたも、このイースターの本当の意味を知っていただきたいと願います。そして、ぜひ、教会のイースターの集いに足をお運びいただきたいと願います。

ケアプラン
ディサービス
オリーブの実

「ケアプラン オリーブの実」
☎:0797-73-6055

<http://hp.kaipoke.biz/gev/>
教会ホームページのバナーからもアクセスできます。

お気軽にお問い合わせ、
ご相談ください。

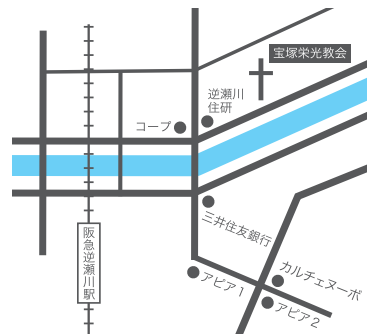
「ディサービス オリーブの実」
☎:0797-73-6077

宝塚栄光教会

牧師: 岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com <http://www.takara-eikou.com>



希望のダイヤル
毎週更新。24時間つながります。
0797-77-3746

ポッドキャスト
でも配信!
ホームページから
利用できます。

礼拝 毎週日曜日
10:30～11:40

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく、正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。



ののしられても

今年の3月の最終週は特別な週です。イエス・キリストが十字架の苦難を受けられたことを深く覚える受難週です。

キリストは、実に耐え難い苦しみを受けられました。イスカリオテ・ユダに裏切られ、ペテロに三度も否定され、他の弟子たちからも見捨てられました。

キリストは一晩中、初めから死刑にする目的で開かれた不当な裁判で裁かれました。つばきをかけられ、平手でたたかれ、むち打たれ、愚弄され、ついに両手両足をイヌクギで打ち抜かれて、十字架に付けられました。

キリストは、何一つ罪を犯されませんでした。キリストを裁いた総督ピラトでさえ、キリストの無罪を認めざるを得なかったくらいです。それなのに、キリストは重罪人のようにして、十字架刑に処せられたのです。何のためでしょうか。私たちのためです。

私たちは、天地万物を創造された真の神を知らず、自分の欲に任せて、放縦な生活を送ってきました。心の中には、人に対する恨みや妬みや怒りが渦巻き、自分しか愛せない、自己中心な者でした。これが、私たち罪び

との姿です。そのままでは、私たちは確実に滅んでしまうはずでした。

ところが愛なる神は、私たちが滅ぼしたくないと思われ、独り子キリストを十字架にお付けになりました。本当は罪のために神から裁かれ、捨てられるべきであった私たちの身代わりだったのです。キリストは、人々の策略によって十字架に付けられたのですが、実は神が、私たちの代わりにキリストを裁かれたのです。

キリストは、言語に絶する苦しみの中でも、一言も相手をののしったり、神に恨み言を言ったりはされず、黙々と十字架についていかれました。聖書にこうあります。「キリストは罪を犯したことがなく、その口には欺きもなかった。ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、脅すことをせず、正しくさばられる方にお任せになった。」(ペテロの手紙第一2章22, 23節)

キリストの十字架は、私たちの救いの源です。罪を悔い改め、キリストの十字架を信じれば、全ての罪が赦され、私たちは救われます。あなたは、もうこの救いをいただかれましたか。ぜひキリストのもとにおいでください。



「マンサク」

冬の間 雪の中で静まっていた 山の木々が
ざわざわと 目を覚ましたかのような この頃
早春の山で 小さな黄色い花を咲かせるのは マンサクだ

木々に芽吹きも 始まっていないのに
待ちかねたように 蕾をつけ そのふくらんだ先から
次々と花を 咲かせていく
葉の芽が 出る前である

この頃 山で一番に 目を引くのが マンサクの花だ
そのリボンのような 花姿に会って ホッと胸を なでおろす
よく咲いていてくれたと

他の花に先駆けて “まず咲く”から マンサクと 呼び名がついたという
また 枝いっぱい 花を咲かせるので
豊年満作の 満作が 当てられたともいう

このマンサクは 秋が来ると その葉が色づいて
美しい紅葉を 見せてくれる
二度 楽しませてくれる マンサクである

神が わたしたちを憐れみ 祝福し
御顔の輝きを わたしたちに 向けてくださいますように
あなたの道を この地が知り 御救いを すべての民が知るために
神よ すべての民が あなたに感謝をささげますように
すべての民が こぞって あなたに感謝をささげますように

詩編67編（聖書）